

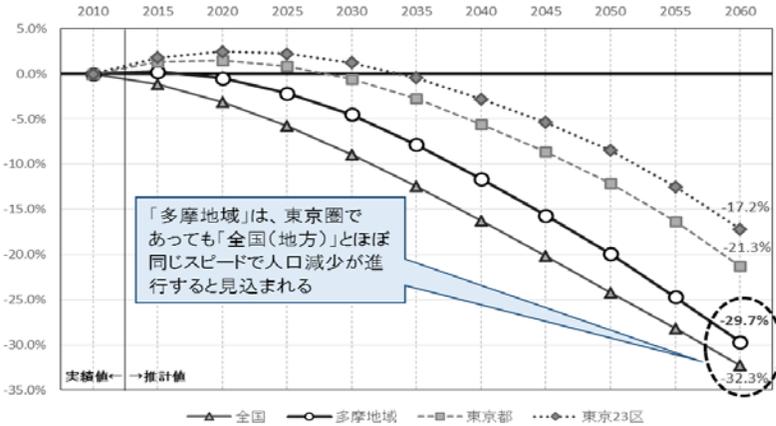
「たちかわ創生総合戦略」の概要

1 人口ビジョン

本市の人口の現状と人口減少が将来に与える影響等に関する認識を市民などと共有するとともに、目指すべき将来の方向を示したもの

多摩地域は全国(地方)とほぼ同じスピードで人口減少が急速に進行する見通し

総人口の増減率(2010年比)の比較(~2060年)



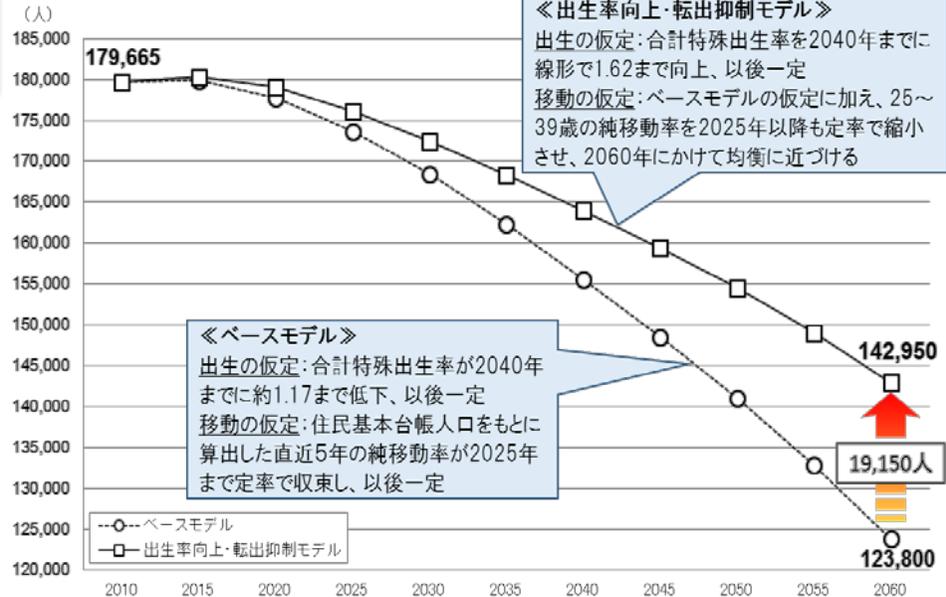
本市では…

人口の将来展望

たちかわ創生で
目指す将来の姿

2060年の総人口

14万人超を確保



総合戦略(裏面)の取組

人口急減・超高齢社会における本市の姿

- 総人口が2060年には12万3,800人にまで減少
- 2060年には市民の約5人に2人が65歳以上の高齢者
- 2040年には高齢者1人を現役世代1.6人で支える人口構造
- 通勤流入割合が約73%と高い本市にとって、周辺地域の人口減少は労働力人口や交流人口の減少につながり、それが地域内消費の減退や地域産業の縮小、若い世代の雇用の場の喪失を招くおそれがある

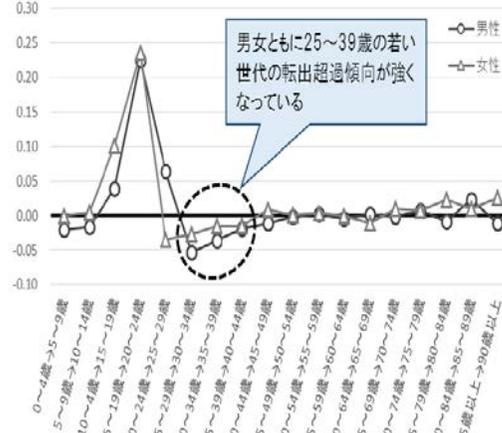
このまま何も
しなければ…

近年、「出生数の減少」と「若い世代の転出超過」の傾向

【自然増減】合計特殊出生率と出生数



【社会増減】直近5年の純移動率(※)



※ 2010年1月1日、2015年1月1日現在の住民基本台帳人口(日本人のみ)等を用いて算出

基本姿勢

市民や地域団体、事業者、行政などが人口減少問題を「自分ごと」として受けとめ、「オール立川」の体制で克服に取り組みます

交流を中心に展開する「たちかわ創生」と4つの戦略

「たちかわ創生」では、「交流・ひと・しごと・まち」の4つの創生の中心に「交流」を据え、相互に関連させながら一体的に進めます。これらの創生に戦略的に取り組むため、「4つの戦略」を定め推進することで、本市は多摩地域の中心のまちとしてさらなる発展を目指します。

戦略1【交流】

「世代を超えて選ばれる、選ばれ続けるまちをつくる」

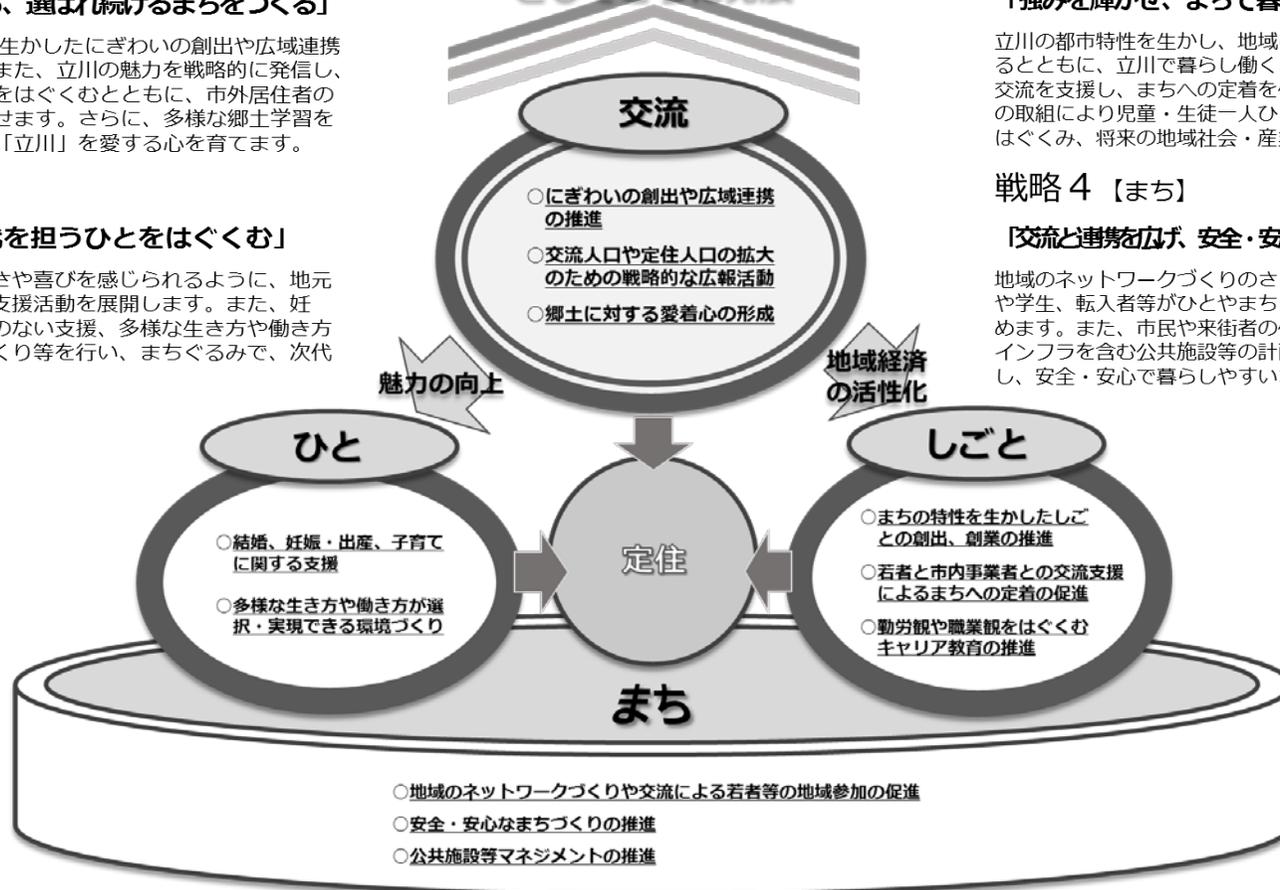
「交流都市 立川」の強みを生かしたにぎわいの創出や広域連携の推進等に取り組みます。また、立川の魅力を戦略的に発信し、市民のまちへの誇りや愛着をはぐくむとともに、市外居住者の立川に対する関心を向上させます。さらに、多様な郷土学習を通して、児童・生徒の郷土「立川」を愛する心を育てます。

戦略2【ひと】

「まちぐるみで、次代を担うひとをはぐくむ」

家庭を持つことの素晴らしさや喜びを感じられるように、地元関係団体等と連携した結婚支援活動を展開します。また、妊娠・出産・子育ての途切れない支援、多様な生き方や働き方が選択・実現できる環境づくり等を行い、まちぐるみで、次代を担うひとをはぐくみます。

多摩地域の中心のまちとしてさらに発展



戦略3【しごと】

「強みを輝かせ、まちで暮らし働くしごとをつくる」

立川の都市特性を生かし、地域に根ざした魅力あるしごとを創出するとともに、立川で暮らし働くことを希望する若者と市内事業者の交流を支援し、まちへの定着を促進します。また、キャリア教育等の取組により児童・生徒一人ひとりの勤労観・職業観を社会全体ではぐくみ、将来の地域社会・産業を担う人材を育成します。

戦略4【まち】

「交流と連携を広げ、安全・安心で暮らしやすいまちをつくる」

地域のネットワークづくりのさらなる推進を図るとともに、若者や学生、転入者等がひとやまちとつながるきっかけづくり等を進めます。また、市民や来街者の体感治安の向上や防災対策、都市インフラを含む公共施設等の計画的で効果的な保全・更新を推進し、安全・安心で暮らしやすいまちづくりを進めます。

